

手話ダンス50校で舞台

4人組「ハンドサイン」達成



手話を取り入れてダンスする4人組の男性パフォーマンス集団「HANDSIGN(ハンドサイン)」が8日、目標としていた50校目の公演を平塚市立大野中学校で行った。

スピーカーや照明機材が置かれライブ会場に様変わりした同校の体育館で、メンバーが「ついに50校目となりました」と叫ぶと、約650人の生徒たちも歓声で応えた。

メンバーは、日本三大七夕まつりの一つとして知られる平塚市の「湘南ひらつか七夕まつり」を歌った曲に合わせ、手話を交えた独自の振り付けを紹介。「祭り」や「楽しい」などの手

▲50校公演を達成し、生徒と一緒に「I love you」の手話をするハンドサインのメンバー(平塚市立大野中学校で)

話の動作をしながら一緒に踊った。同校1年の立花真美さん(13)は「耳が聞こえない人でも手話やダンスで一つになれることを知った。手話をするのは初めてで、早速使ってみたい」と笑顔を見せた。

ハンドサインは、平塚市在住のリーダー・TATSUさんが、難聴者が登場するテレビドラマをきっかけに手話に興味を持ち、2005年に結成した。コミュニケーションの幅が広がる手話の魅力を伝えようと、